

# 津ライスニュース 平成29年産第1報

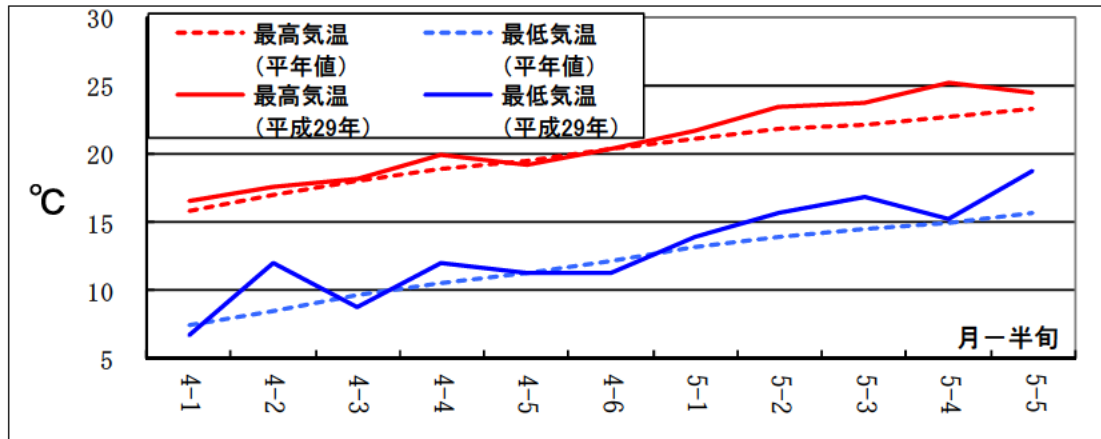
平成29年5月26日

津地域農業改良普及センター 電話:059-223-5103

## 気象経過

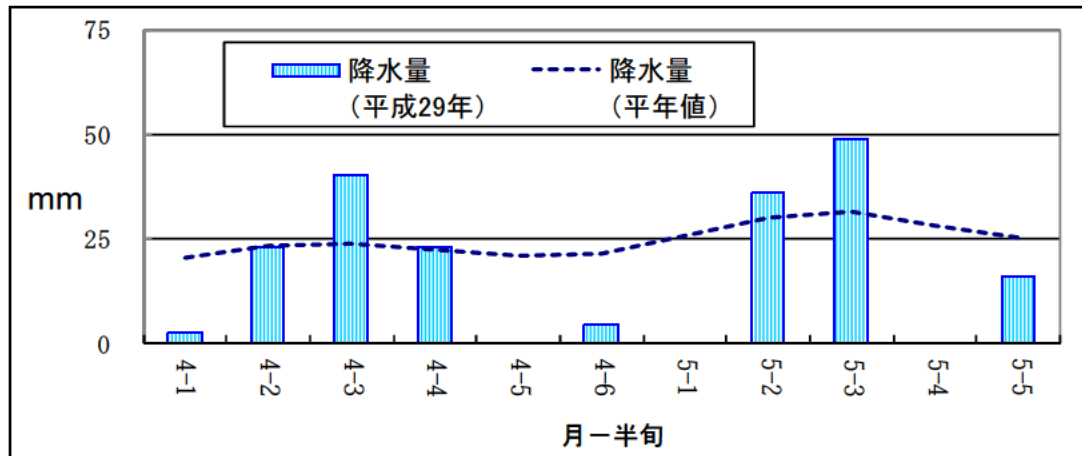
### <気温>

4月上旬から気温は高めに推移しています。



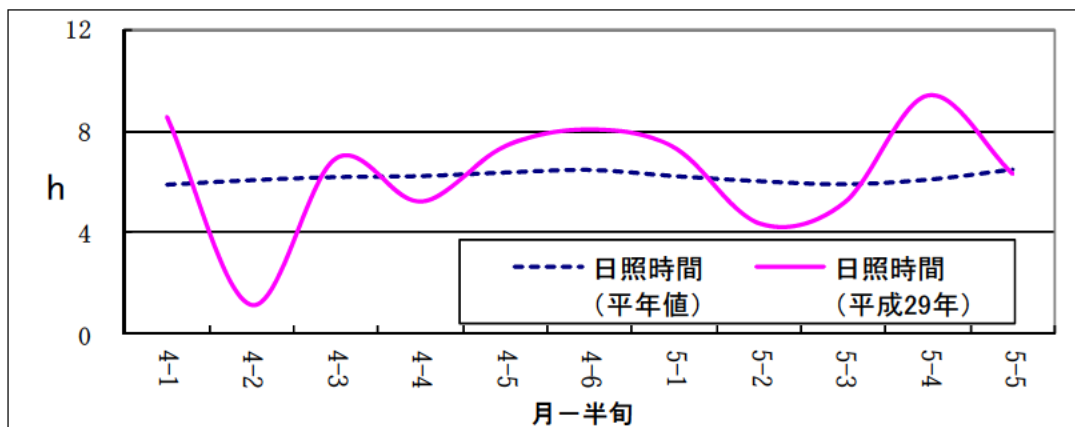
### <降水量>

4月中旬、5月上、中旬に一時雨が多かったものの、降水量は少なめです。



### <日照時間>

4月中旬以降晴れた日が多く、5月上中旬を除き日照時間も多めです。



## 生育の概況

本年は、3月下旬の低温により一部では浸種不足による苗立ちが不揃いの苗がりましたが、カビ類の発生は殆どなく良苗が多く見受けられました。また、冬季～春先にかけての降水量が例年の7割ほどと少なく、代掻き時の用水が心配されましたが、4月中旬より順調に田植作業は実施されました。

4月中に田植えしたものは西風による植え傷みが見られましたが、5月以降に田植えしたものは好天に恵まれ活着は順調に進みました。やや深水の水管理がなされ、また、5月中旬は曇天日が多く日照不足ぎみに経過したため、草丈はやや長く、茎数は平年並みとなっています。

## 病害虫の発生状況と対策

### <いもち病>

いもち病発生の適温(25～28℃)となる時期を迎えています。発生の早い年では6月10日頃に発生します。現時点では本田での発生はありませんが、今後、雨の日が続く、高温多湿で感染に好適な条件が揃うと、本田でのいもち病発生が心配されます。

- ・補植用の苗は早めにほ場外へ取り除きましょう。
- ・いもち病の初発の早期発見と適期防除に努めましょう。

### <害虫(イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ)>

本年は、4月以降の高温の影響によりイネミズゾウムシの発生がやや早く、発生量も少々目立つところも散見されます。山沿いや常発地では今後、害虫の発生増加も予想されますので注意してください。

## 今後の栽培管理

### <中干し>

中干し開始は移植後40日頃で、葉色が濃く茎数が確保できたほ場(コシヒカリで400本/m<sup>2</sup>、20本/株程度となった頃)から行います。

中干しは用水を入れ替えるようなつもりで行います。また、同じ水を常時張りっぱなしにするのは、根痛みの原因になります。

本年は、6月に入ったら、ほとんどのほ場で中干し作業が行えると思われませんが、中干しの開始時期と強弱については、水稻の生育状況(=茎数の状況)に合わせて実施してください。梅雨入り前に一度軽く干しておくとともに、排水が悪いところでは溝切りを実施しておくとう水管理が楽になります。

**\*茎数が多い場合** 中干しを早い目に、やや強く行います。

ただし、田面が大きくひび割れるような中干しは、根を切断し生育を強く抑制しますので避けてください。

**\*茎数が少ない場合** 中干しを遅い目に、弱く行います。

**本年は初期生育が順調で、現時点で茎数はほぼ平年並みです。今後、6月上旬にかけて、茎数の増加や葉色が濃くなる時期を迎えると予想されます。**

### <除草>

本年は生育が順調で、降雨の影響による除草剤の効果不足は少ないと思われませんが、適期防除を逃したほ場や後発のヒエや広葉雑草の発生があるほ場では、早めに後期剤を散布します(但し、使用時期=特に収穫前日数に注意してください)。